

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川中央交通(株) 大和営業所建替工事	階数	4
建設地	大和市下鶴間字乙九号2775番1の一部、2775番2外3番	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	275 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,665 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年2月28日
敷地面積	8,925 m ²	作成者	(株)東急設計コンサルタント一級建築士事務所
建築面積	812 m ²	確認日	2024年2月28日
延床面積	2,402 m ²	確認者	(株)東急設計コンサルタント一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	高断熱の断熱材や高効率の設備機器を採用し、環境負荷低減へ配慮した計画としている。また、階高や天井高さを確保し、空間にゆとりを持った計画としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	天井裏を含めすべてF☆☆☆☆または告示対象外品とし、室内の空気環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にバランスよく植栽を配置している。
LR1 エネルギー	高断熱の断熱材や高効率の設備機器を採用している。	LR3 敷地外環境 駐輪場、駐車場を適切な量を確保し、自転車利用者・車利用者双方へ配慮した計画となっている。
Q2 サービス性能	階高を大きくとったり、天井高さを大きくとることで空間のゆとりを持った建物とした。 また、外壁は高寿命なサイディングを採用している。	
LR2 資源・マテリアル	節水型の大便器・小便器の採用。トイレの手洗いには自動水栓を採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される